

本科及研究生用书



- 阅读日本报刊短评
- 透析新闻时事热点
- 洞察日本社会万象

日汉对照

日语报刊选读

申秀逸 编著



大连理工大学出版社
DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

日语 报刊 选读

申秀逸 编著



大连理工大学研究生课程建设经费资助



大连理工大学出版社
DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目 (CIP)数据

日语报刊选读 / 申秀逸编著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2015.8

ISBN 978-7-5611-9899-5

I. ①日… II. ①申… III. ①日语 - 阅读教学 - 自学参考资料 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2015) 第 135019 号

大连理工大学出版社出版

地址 : 大连市软件园路 80 号 邮政编码 : 116023

发行 : 0411-84708842 邮购 : 0411-84703636 传真 : 0411-84701466

E-mail: dulp@dulp.cn

URL: <http://www.dulp.cn>

大连金华光彩色印刷有限公司印刷

大连理工大学出版社发行

幅面尺寸 : 168mm × 235mm

印张 : 12

字数 : 194 千字

附件 : 光盘 1 张

2015 年 8 月第 1 版

2015 年 8 月第 1 次印刷

责任编辑 : 张 凡

责任校对 : 杨波 王鑫

装帧设计 : 对岸书影

ISBN 978-7-5611-9899-5

定价 : 30.00 元



前言

短评是新闻评论中的一种文体，以报纸上最为常见。好的短评，“言近而旨远，词约而意深”，因而受到了广大读者的喜爱。对于日语爱好者来说，短评更是了解日本、学习日语的好素材。但是，目前出版的类似的短评书籍往往在时间上跨度过大，选材过于单一，难以满足大学本科高年级学生的“时事导读”及研究生的“新闻报刊选读”的课程需求。

因此，在燕山大学研究生课程建设经费资助下，我们编写了这本集实用性、趣味性、时代感于一体的教材。书中所选的短评文章均出自2014年日本的《每日新闻》《产经新闻》《日本经济新闻》及《朝日新闻》的短评专栏。这些短评像一面镜子一样反映了日本社会的现状。

为了让读者接触更多的领域，拓宽知识范围，开阔视野，更多地了解日本的社会、文化、政治及经济，全书分为文化篇、社会篇、事件篇、国际篇、政治篇、经济篇六个部分。

本书针对每一篇短评，分成阅读背景、正文及读音标注、关键

Preface

词宝典、参考译文、难句解析、短评解析六大部分。由于时事短评具有言简意赅的特点，读者理解起来有一定难度，所以本书增加了短评解析，有助于读者深入地理解短评的内涵。

参加本书编译工作的有：申秀逸、王莉、杨阔、徐涵、王伟。申秀逸对全书进行了最终审校。张凡编辑对本书的出版予以全力支持，在此深表感谢。

作为本科及研究生用教材，也希望本书能成为广大日语学习者学习日语、了解日本时事的桥梁，愿每位读者都能从这些短评中收获一点乐趣，一份智慧。作为编写者，我们在编写的各个环节都不敢疏忽，但因水平、资料有限，疏漏在所难免，诚望得到专家、同行以及广大读者的批评指正。联系邮箱：shenxiuyi18@163.com

申秀逸

燕山大学外国语学院

2015年5月



目 录



文化篇

- 01 30歳の成人式 | 30岁的成人式.....2
- 02 オヤジとお袋 | “父亲”和“母亲”.....5
- 03 子供の嘘 | 孩子的谎言.....9
- 04 お母さん、ありがとう | 妈妈，谢谢您.....12
- 05 3Dプリンターの功と罪 | 3D打印机的功与罪.....15
- 06 出さなかったラブレター | 一封未寄的情书.....18
- 07 ピカピカの堅持 | 闪闪发光的坚持.....22
- 08 最後の大スター——高倉健 | 最后的巨星——高仓健.....25



社会篇

- 09 バカボンのパパが教える世界 | 傻瓜波恩的爸爸告诉给我们的世界.....30
- 10 52万人入居待ち | 52万人等待入住.....34
- 11 現代の仕送り事情 | 大学生的生活费.....38
- 12 認知症の介護 | 照顾痴呆症患者.....41
- 13 「ぼっち」上等 | “孤独”至上.....44
- 14 緩和される賞味期限 | 放宽保质期.....47
- 15 大学入試改革 | 大学入学考试改革.....50
- 16 携帯の電源をお切りください | 请关掉手机.....53

事件篇

- 17 大学のお受験 | 大学的入学考试.....58
- 18 家庭暴力をなくそう | 减少家庭暴力.....62
- 19 悲しい学術研究 | 令人悲哀的学术研究.....65
- 20 ところがの連続 | 意想不到的连续.....69
- 21 のぞきのぞかれ | 偷窥与被偷窥.....73
- 22 許されない情報流出 | 信息外泄，不能容忍.....77
- 23 悲しい2学期 | 悲伤的第二学期.....80
- 24 なぜ人を殺してはいけないのか | 为何不能杀人?83

国际篇

25	英語の通じる五輪 用英语能交流的奥运会	88
26	マレーシア航空機を祈る 为“马航客机”祈福	92
27	鯨の恩恵 鲸鱼的恩惠	96
28	エキスパートエラーを拒否 杜绝“专家错误”	100
29	オバマ氏と何を話すか 与奥巴马谈些什么	104
30	エボラ・ウイルス 埃博拉病毒	108
31	私には夢がある 我有一个梦想	111
32	家康の平和外交 家康的和平外交	114

政治篇

33	国会置き去りの解釈改憲 绕开国会 解释改宪	120
34	集团的自衛権と沖縄 集体自卫权与冲绳	124
35	維新の両雄並び立たず 维新双雄不并立	127
36	セクハラ事件 性骚扰事件	131
37	セクハラヤジで謝罪 因性骚扰奚落的道歉	134
38	「雨降って地固まる」だけ? 仅仅是“不打不相识”?	138
39	絶望の涙を落とすな 莫流绝望之泪	141
40	解散権という宝刀 解散权这把宝刀	145
41	首相の言葉に素朴な疑問 对首相言辞提出纯朴的质疑	149

- 42 急いてはことを仕損じる | 欲速则不达.....154
- 43 理性的な買い物と儉約の生活 | 理性购物 节俭生活.....157
- 44 新入社員も「大過なく」 | 新职员也求“无大过”.....160
- 45 日航と全日空の国際線 | 日航与全日空的国际航线.....164
- 46 企業に新しい風 | 吹进日本企业的新风.....168
- 47 日本一社員がしあわせな会社 | 职员幸福指数最高的日本公司...171
- 48 牛丼店の過酷労働 | 牛肉盖饭店的超负荷工作.....175
- 49 価格表示の工夫 | 价格标注中的玄妙之处.....179
- 50 ベンチャー精神を生かそう | 发扬冒险精神.....182



文化篇

- 01 30歳の成人式
- 02 オヤジとお袋
- 03 子供の嘘
- 04 お母さん、ありがとう
- 05 3Dプリンターの功と罪
- 06 出さなかったラブレター
- 07 ピカピカの堅持
- 08 最後の大スター——高倉健



30歳の成人式



阅读背景

三十岁成人式

1月13日是日本的成人日。这一天，年满20岁的日本人要参加成人仪式。最近，流行在30岁举办成人式，因为在20岁至30岁的这10年间，年轻人经历各种各样的社会磨炼变成了真正的大人。因此“30岁成人式”还是一种促进乡土发展以及寻找商机的活动。而京都府与谢野町是最早举行“30岁成人式”的地方。2012年3月，在与谢野町内聚集了约70人，他们举行了以“30岁能够做的事”为主题的交流活动。

报刊选读



关键词 宝 典

エッセイスト(名)
(essayist) 散文家

振袖(名) 长袖和服

負け犬(名) 丧家犬，
败者

明治時代の人の寿命は50歳くらい。対して現代人の平均寿命は80歳を超えている。とすれば明治の20歳は、現在の30歳に相当する。エッセイストの酒井順子さんは、大学時代、ある雑誌が「30歳成人説」を特集していたのを記憶している。

成人式で振袖を着たものの、大人になった自覚のなかった酒井さんは、大いに共感した。「三十歳という、山の彼方の空遠くに存在している年齢になれば、こんな自分も大人になるのかもしれない…とぼんやり思っていたのです」(『負け犬の遠吠え』)^[1]。

とうじ ねんだいこうはん けいき ま さいちゅう
 当時は1980年代後半、バブル景気の真っ最中だった。

織元(名) 纺织厂家

だい おお しごと けっこん じぶん せいかつ たの ゆうせん
 20代の多くは、仕事や結婚より自分の生活の楽しみを優先
 した。「大人になんてなりたくない」という、わがママが許
 された時代でもあった。

ベンチャー(名)
 (venture) 风险

いま さい きょうと ふよさ
 今の30歳は、バブルをまったく知らない。京都府与謝
 のちよう たんご おりもと かぎょう つ やまぞえとうま
 野町で丹後ちりめんの織元である家業を継いだ山添藤真
 さん(32)もその一人だ。2年前に地元で「30歳の
 せいじんしき きかく さい ちいき かつせい
 成人式」を企画したのは、「30歳のパワーを地域の活性化
 につなげたい」との思いからだ。同じような「成人式」
 ひら うご ぜんこく ひろ しやうし つた
 を開く動きが全国に広がっていると、きのうの小紙が伝えて
 いた。

だい きぎょう そうごうしよく かんちやう さいやう さい
 「大企業の総合職と官庁のキャリアの採用は30歳か
 らにすべきだ」。「婚活」などの言葉を世の中に浸透させた
 しゃかいがくしや やま だ まさひろ すうねんまゑ しゅちやう わだい
 社会学者の山田昌弘さんが数年前に主張して、話題になった。
 のうりよく めぐ がくせい だい きぎょう かんちやう しゅうちやう
 能力に恵まれた学生が大企業や官庁に集中して、リスク
 と ばんじやう けいしやう な
 を取らなくなった現状に警鐘を鳴らしたものだ。

たし だい ちゅうしやう きぎょう きぎょう けいけん
 確かに、20代で中小企業やベンチャー企業で経験を
 つ ほんとう しごと み かてい も
 積み、本当にやりたい仕事も見えてくる。家庭を持てば、
 じんせいけん おとな しゅつぽつてん いわ さい
 人生観も変わるだろう。大人の出发点を祝うのは、30歳の
 せいじんしき ほう
 成人式の方がふさわしいのかもしれない。

(産経新聞 2014年1月14日)

参考译文



30岁的成人式

明治时期，人的寿命为50岁左右。而现代人的平均寿命超过80岁。这样一来，明治时期的20岁就相当于现在的30岁。散文家酒井顺子还记得在（她）大学时期，某杂志曾出过的一个《30岁成人说》的专刊。

酒井虽然在成人式上穿上了长袖和服，但是却还没有意识到自己已成年。所以她（对“30岁成人说”）深有同感。“30岁对于我来说，就感觉如同山

的那边一样遥远，也许到了30岁，不成熟的我也会变得成熟吧……我曾这样出神地想过”（《败犬的远吠》）。

当时是20世纪80年代后期，正值泡沫经济最盛期。许多20多岁的年轻人都把享受生活优先于工作和结婚。在那个时代也允许他们有“我可不想长大”的这种任性。

现今30岁的人，根本就不知道什么是泡沫经济。据本报昨日报道，在京都府的与谢野町，继承了丹后绉绸纺织厂家业的山添藤真（32岁）就是其中一人。两年前他之所以在当地筹划“30岁成人仪式”，就是想“用30岁的能量来激活该地域”，以至全国都出现了举办同样“成人式”的动向。

曾让“婚活”等词渗透于社会中的社会学者山田昌弘几年前就主张“应该录用30岁以上的人员来担任大型企业的综合职位以及政府工作岗位”，这成了当时的话题。（该主张）是对有能力的学生都集中在大企业 and 政府而不愿去冒险的这种现状敲响的警钟。

20多岁的年轻人如果能在中小企业和风险企业中积累经验，确实能够发现自己真正想做的工作是什么。如果有了家庭，人生观也会有所改变吧。所以说30岁的成人式或许更适合庆祝长大成人。

难句解析

[1] 三十歳という、山の彼方の空遠く、に存在している年齢になれば、こんな自分も大人になるのかもしれない…とぼんやり思っていたのです。

该句中的「山の彼方」是指当时年轻的酒井认为30岁离自己就如山的那边一样遥远，而「こんな自分」是指酒井当时在年龄上虽已成人，但还未意识到，所以译为“不成熟”。

短评解析

20岁虽然在年龄上已属成人，但却处在人生中最迷茫的阶段。20世纪80年代正值日本泡沫经济最盛期，20多岁的年轻人就曾沉迷玩乐不想长大。现在很多有能力的年轻人也不愿去冒险，而一味地想在大企业和政府中寻求安逸。他们年龄上虽已是成年人，但却没有成年人应具有的使命感。作者认为步入30岁的人们开始懂得了如何为社会的发展贡献自己的一份力量，所以从这个意义上来讲30岁举办成人式更适合。

02

オヤジとお袋



阅读背景

海螺小姐

动画片《海螺小姐》是日本的一部长寿动画片，原作是长谷川町子的同名四格漫画。漫画的所有角色都以海产品命名，据说是作者每天和妹妹在海边散步时想出来的。内容以主妇海螺小姐为中心，描写矶野一家七口幽默欢快的生活，反映一般日本大众的生活状况。主角海螺小姐的开朗、善良以及略显急躁的个性深受大众欢迎。海螺小姐目前已播出6000集左右。

报刊选读



「バックモン！」。フジテレビの『サザエさん』で聞き慣れた怒鳴り声は、どうなるのだろう。父、波平の声を長年担当してきた声優の永井一郎さん（82）が、亡くなった。

昭和44年（1969）に始まったアニメが、今も高い人気を誇っているのはなぜか。同僚記者が、永井さんに尋ねたことがある。「戦後の日本は自由や個性という名目のもとに形を捨てた。家族関係も教師と生徒の関係も壊れてしまった。そんななか、『サザエさん』だけは、決して形を失っていない」¹¹⁾。まるで大学で「永井教授」の講義を受けてい

关键词
宝典

聞き慣れる (五化) 听惯

誇る (五化) 自豪

カツオ (名) 鰹魚,
劇中の长子。(该剧
人物全都以海产品命
名)

直後 (名・副) 紧接着

放り込む (五他) 胡乱
扔进

試行錯誤 (名) 反复摸索
尝试

繰り返す (五他) 反复

【慣用句】 気が付く:
意识到、察觉

生み出す (五他) 创造,
发明

レシピ (名) (recipe)
食谱

【慣用句】 目が回る:
非常忙, 眼花

覆す (五他) 颠覆

るようだったという。

なが い こうこうせいあいて こうえん きんぐい おお と らゆう
永井さんは高校生相手に講演する機会も多かった。途中
でツッパリグループが「な一みへい」などと騒ぎ出す。「こら、
しず 静かに聞かんか」。一喝すると、みんなうれしそうな顔をして、
しず 静かになった。みんなカツオになった気分で甘えていると、
なが い かん
永井さんは感じた。

あい かみなり うしな ちよくご こん じ
愛すべき 雷 オヤジを失った直後に、今度は「おふくろ」
だいひょう の 代表ともいえる、料理研究家の小林カツ代さん (76) の
ふ ほう とど さい けつこん さいしょ つく りょうり
訃報が届いた。21歳で結婚したとき、最初に作った料理は
なんと、水にみそとワカメを放り込んだだけのみそ汁だった。

に じ 二度とこんなまずいものは食べたくない、と試行錯誤を繰
かえ き つ げんぐみ りょうり おし
り返すうちに、気が付いたらテレビ番組で料理を教えていた^[1]。
はんせい き あいだ う だ せん こ じ こと こ
半世紀の間に、生み出したレシピは6千を超える。仕事と子
そだ りょうりつ め まわ いそが ひつよう せま かんが
育ての両立で目の回る忙しきのなか、必要に迫られて考え
た料理が大半だ。

あ もの あぶら ひつよう しょうしき ぐつがえ
揚げ物にはたっぷりの油が必要という「常識」を覆し、
フライパンでからりと揚げる方法は、小欄も実践している。
さくねん わ しょく わ けいぶん か い きん とうろく こ ばやし
昨年、和食が無形文化遺産に登録されたとき、小林さんは
こう いう いた かった はずだ。せかい へ 発信すべきは、日本の家庭
りょうり
料理だ、と。

(産経新聞 2014年1月30日)

参考译文



“父亲”和“母亲”

“大笨蛋！”听到富士电视台播放的《海螺小姐》中这一声观众耳熟能详的厉喝，你会作何反应呢？长期为剧中父亲波平配音的永井一郎（82岁）与世长辞了。

为什么日本人为昭和44年（1969年）开播至今依然受欢迎的动漫而感到自豪呢？就此事，本报记者曾问过永井先生。永井先生说：“战后日本借自由与个性之名，抛弃了日本原有的模式。家庭关系、师生关系全都走样了。在这种情况下只有《海螺小姐》保留着日本固有的本色。”那时（的情形）就如同在大学里听“永井教授”授课似的。

永井先生为高中生做演讲的机会也很多。（演讲）中途会听到当一群“捣蛋的”学生一喊“波——平”，会场就骚动起来。随着永井先生一声大吼“喂，不能安静地听吗！”大家就都一副高兴的样子渐渐安静下来。那一刻永井先生觉得，学生们如同鲤鱼在向自己撒娇一般。

（我们）刚失去令人喜爱的“严父”，这次又听到“慈母”的代表——美食家小林胜代（76岁）的讣告。在她21岁结婚之时最初做的竟是只将豆酱和裙带菜一股脑放进水里的味噌汤。

再也不想吃这么难吃的东西了，（在这样的想法下）经过一次次反复摸索，（她的厨艺与日俱增）当她意识到这一点时，都已经在电视节目中教大家烹饪了。在半个世纪的时间里，她创造的菜谱就超过六千种。有一多半菜谱都是她在忙于兼顾工作与育儿的过程中迫于需要研究出来的。

小林女士发明的用平底锅（就能将食物）炸得酥脆的方法颠覆了煎炸食品要用大量油的常识。笔者现在也在使用这个做法。去年，日本料理被列入非物质文化遗产名录的时候，小林女士肯定想这样说，“应该向世界展示的是我们日本的家庭料理。”

难句解析

- [1] 家族関係も教師と生徒の関係も壊れてしまった。そんななか、『サザエさん』だけは、決して形を失っていない。

该句中的「壊れる」一词如直接翻译成“崩坏”，在上下文中语义不通，斟酌后应译为“走样”。第二句中的「形」采用意译，并将“《海螺小姐》不抛弃日本原有模式”译为肯定句，即保留着日本的固有色。

- [2] 二度とこんなまずいものは食べたくない、と試行錯誤を繰り返すうちに、気がついたらテレビ番組で料理を教えていた。

本句缺少主语小林女士，句中「と」是小林女士的想法，她不想再吃这么难吃的食物了。「試行錯誤」是指烹饪过程中的反复尝试。

短评解析

本文介绍了两位有代表性的公众人物，一位是“严父”——永井一郎，一位是“慈母”——小林胜代。永井一郎明确指出战后日本借自由与个性之名，抛弃了日本原有的模式。家庭关系、师生关系全都走样了。在这种情况下只有《海螺小姐》保留着日本的固有色，所以能够在日本保持如此超高人气。而小林胜代更是通过自己一点一滴的实践，创造出了独具特色的日本料理。从他们的身上，我们看到了具有日本特色的传统文化的传承。